

第 1 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

- 1 日時 昭和 5 2 年 1 月 5 日(木) 午後 1 時 4 5 分～
- 2 場所 宇宙開発委員会会議室
- 3 議題 委員長就任挨拶及び委員長代理の指名について
- 4 資料 委 1 - 1 第 2 9 回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨

委 1-1

第29回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨

1. 日時 昭和51年12月15日（水）
午後2時～4時
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題
 - (1) 昭和51年度1～2月期におけるロケット及び人工衛星の打上げ計画について
 - (2) その他
4. 資料
 - 委29-1 第28回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
 - 委29-2 SESノート K-№512 昭和51年度第2次観測ロケット実験計画概要
SESノート K-№513 K-9M-58による観測
SESノート K-№514 M-3H-1号機の実験
 - 委29-3 Nロケット3号機による技術試験衛星Ⅱ型打上げ及び追跡管制計画書
 - 委29-4 Nロケット3号機による技術試験衛星Ⅱ型の打上げ及び追跡管制について
 - 委29-5 昭和51年度1～2月期ロケット打上げ計画日程表
5. 出席者
 - 宇宙開発委員会委員長代理 細 島 毅
 - 委員 吉 識 雅 夫

宇宙開発委員会委員

〃 〃

説明者

東京大学宇宙航空研究所教授

〃 〃

宇宙開発事業団副理事長

〃

打上管制部長

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長

〃

官房参事官

文部省学術国際局審議官

運輸省大臣官房参事官

〃

気象庁総務部長

〃

海上保安庁総務部長

郵政省電波監理局審議官

建設省大臣官房技術参事官

郵政省電波監理局

〃

東京大学宇宙航空研究所

八 藤 東 禧

斎 藤 成 文

森 大吉郎

野 村 民 也

松 浦 陽 恵

村 尾 忠 義

園 山 重 道

佐 伯 宗 治

沢 田 徹

（代理：大坂）

沼 越 達 也

（ 〃 ： 右近）

宇津木 巖

（ 〃 ： 高谷）

鈴 木 登

（ 〃 ： 佐藤）

門 田 博

（ 〃 ： 室）

細 川 弥 重

（ 〃 ： 馬場）

楠 忠 興

安 成 知 文

秋 元 春 雄

宇宙開発事業団試験衛星設計グループ
総括開発部員

田 畑 淨 治

〃

徳 田 修 造

〃

久 保 克己

〃

飯 塚 裕 久

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

伊 藤 栄 一

〃

宇宙国際課長

三 浦 信

〃

宇宙開発課長

雨 村 博 光他

6. 議事要旨

(1) 昭和51年度1～2月期におけるロケット及び人工衛星の打ち上げ計画について

① 東京大学関係

東京大学宇宙航空研究所森太吉郎教授及び野村民也教授から資料委29-2に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われ、計画が了承された。

吉識：キックモータは、衛星の向きを変えてから点火するのか。

森：始めから加速する方向に向けてある。

野村：SESノート K-16513第1頁2行目を「赤外域では可視域に比べて銀河系のちり等による散乱が非常に少ないために」と訂正していただきたい。

網島：試験衛星の追跡を米国に依頼してあるのか。

野村：NASAと交渉中である。有償だが、了承してくれる見込みである。

② 宇宙開発事業団関係

宇宙開発事業団の松浦陽恵副理事長及び村尾忠義打上管制部長から資料委29-3及び4に基づいて説明が行われたのち、以下の質疑応答が行われ、計画が了承された。

網島：Nロケット3号機はパーキング軌道を長時間回さずにすぐにトランスファ軌道へ入れるのか。

松浦：そのとおりである。しかし第2段はパーキング軌道を回ることになる。

網島：打上げ及び追跡管制のソフトウェアは完成しているのか、信頼性はどの程度か。

松浦：ソフトウェアは完成しており、現在は訓練を行っている。

Nロケットの打上げ成功率は80%以上でありこれは前回と同様である。

吉識：MT-135はNロケット3号機の飛行経路を解析するための気象データ取得が目的ということだが、そのためにはNロケットの打上げ前後にMTロケットを打ち上げるべきではないか。

松浦：前後に行うことが望ましいが、現在の状況ではむずかしい。

八藤：MTロケットの打上げによつて得た気象データはどんな価値があるのか。

松浦：軌道がアブノーマルになった時の飛行経路の解析に役立つ。

八藤：どうしてもやる必要のあるものなら、打上げの前後に近づけて行うべきではないか。

網島：本件はこれまでも何度か議論されているので、この際整理しておく必要がある。

園山：ロケットの打ち上げについては、地元漁業関係者との約束等もあり、いろいろと問題があるが、事務局でも検討が必要と考えている。

斎藤：今回、NASAは何をやってくれるのか。

松浦：軌道決定のためのデータ取得をしてくれる。結果は筑波に連絡される。

(2) 前回議事要旨について

第28回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が一部削除のうえ確認された。

(3) その他

佐伯宗治官房参事官からESAとの行政官会議について報告が行われた。